

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	英語	科目	日常英語	単位数	3	学年	3	コース	教養フロンティア (人間系)
								必修・選択	選択 (B群)
使用教材	教科書	(学校設定科目につきなし)							
	副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主作成教材 ・ 様々なメディア教材 							

学習目標

- ・ 日常生活の様々な状況における実践的な英語表現を習得する。
- ・ 学んだ表現方法を用いて、実際の生活における様々な状況に英語で対応できるコミュニケーション能力を養う。
- ・ 「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの技能を用いて、自分の意見を表現することができる能力を養う。

学習方法

様々な場面やシーンにおける、適切な英語コミュニケーション方法について学ぶ。
 そのため、広く日常生活や社会一般に対する興味関心を持ち、情報を収集する必要がある。
 同時に、他者と英語を介したコミュニケーションを行う上で、最も大切な「伝えたい」気持ちを持って、積極的に発話し、相手の話を聞く姿勢を養う。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりとごとの下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	英語を使ったコミュニケーションに関心があり、意欲的に英語を使おうとする態度で取り組んでいる。
②思考・判断・表現	様々な場面での英語によるコミュニケーションにおいて、背景知識や経験を生かして、創造的な英語表現を行っている。
③技能	基本的な語彙・文法を使用して、英語を聞き取り、自らが意図した内容について英語で伝えられる。
④知識・理解	旅行先やビジネス等英語表現を行う上での文化的理解がされている。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
クラスワーク	◎	○	○	○	積極的な発言を含む
プロジェクトワーク	○	◎	○	○	グループワークへの取り組みを含む
スピーキングテスト	○	◎	◎	○	プレゼンテーションを含む
アクティビティ	◎	○	○	○	シーズンイベントへの積極的な参加を含む
小テスト	○	○	◎	◎	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです
 ※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

- ・ ALTとJTEのチームティーチングが基本となる。授業では先生の話す英語をよく聞くとともに、積極的に自ら英語を発話する努力が求められる。
- ・ 実技試験（スピーチ、プレゼンテーション、インタビュー等）は、授業に取り組み姿勢や内容理解の度合いを測るため必須のものにとらえ、平素授業において、「英語を使う」姿勢を涵養すること。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 33単位時間	オリエンテーション How to introduce oneself/things Elementary School visit Games Explaining Things Job Interview Introducing countries Writing Journal	様々な場面を想定し、それぞれにおいて、多様なコミュニケーションの方法により、英語を使って、他者との間に何らかの意思・情報伝達を図る素地を作る。	積極的に発話しようとするコミュニケーション姿勢の涵養 (関心・意欲・態度)
2 学期 45単位時間	Explaining Things Job Interview Making the music video Telling the way Games Writing Journal	学んだ手法や技能を使用し、様々な場面で、英語を使ってより深く、効果的なコミュニケーションが図れるようにする。	語彙・文法を適切に使用したコミュニケーション能力の開発 (技能・知識・理解)
3 学期 27単位時間	Explaining Things Learning cultures of other countries Presentation about different culture Writing Journal	ALTやJTEと自らの考えを英語で交流し、相手の意見に対する反応を英語で行う。	自らの意見や考えを加えて、より建設的な対話となるようなコミュニケーション能力の開発 (思考・判断・表現)